

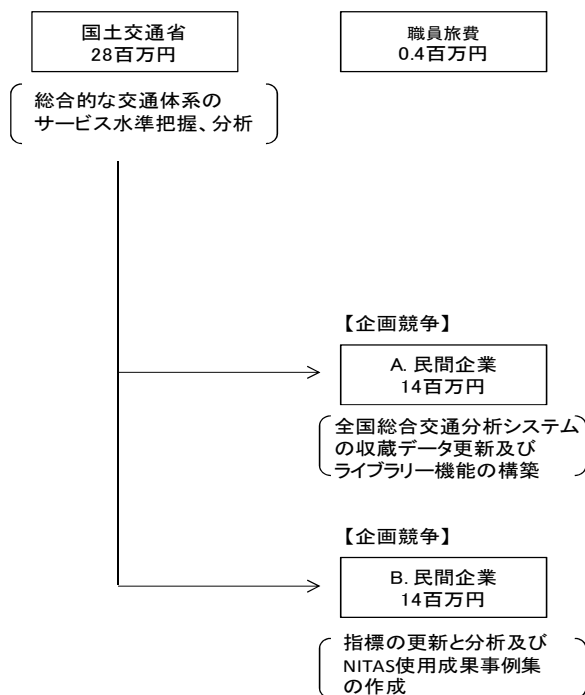
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	総合交通分析システムに関する調査		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H14～		担当課室	総務課		総務課長 佐々木 良		
会計区分	一般会計		政策・施策名	10 国土の総合的な利用、整備及び保全、国土に関する情報の整備 37 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国土形成計画(全国計画)(平成20年7月4日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	総合的な交通体系の整備を社会的要請に沿って効果的に進めるにあたっては、交通サービス水準(移動時間・費用等)の現況や交通インフラの整備効果などを定量的かつ精緻に把握することが不可欠である。本調査は、我が国の交通サービス水準について定量的に評価し、今後のあり方を検討するとともに、関係行政機関における計画立案、事業評価等を支援することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	交通サービス水準を定量的に把握する「全国総合交通分析システム」を開発・運用し、全国的な交通サービス水準の現状を把握するとともに、経年変化、社会経済情勢や旅客流動量との関係、国際比較などから観点から分析を加え、総合的な交通体系の整備のあり方について検討する。また、関係行政機関等における施策の検討や施設整備の事業評価等に活用することで、総合的な交通体系の整備に係る作業の効率化・透明性の確保を支援する。当該システムの運用にあたっては、刻々と変化する交通サービスを分析に反映させるため、内蔵する交通ネットワークデータの定期的な更新を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	25	50	28	0		
		繰越し等	0	0	0			
		計	0	0	0			
	執行額	25	50	28	0			
	執行率(%)	21	7	28				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本施策は、総合的な交通体系の分析ツールの作成、提供とその効果的な活用を図るものであり、成果目標及び成果実績を明確に示すことは困難な性質のものである。		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本施策は、総合的な交通体系の分析ツールの作成、提供とその効果的な活用を図るものであり、活動指標を定めて実施する性質のものではない。		活動実績 (当初見込み)					-
					()	()	()	
単位当たりコスト	3.1(百万円/項目)		算出根拠 X:実績額(28百万円)、Y:検討項目数(9項目)					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計	0						

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・公共投資の効率化・透明化に係る強い社会的要請に応えるものであり、関係行政機関等からも強いニーズがある。 ・また、全国的視点での調査であり、透明性確保の観点から国において実施すべきものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・調査内容が専門的かつ高度であることから、第三者機関である企画競争有識者委員会に諮ったうえで、委託先を選定しており、競争性を確保している。 ・専門性が高い調査を社会的要請に応えた形で実施するためには、迅速かつ計画的対応が必要であり、内容を精査したうえで発注している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・陸海空の交通機関を網羅し、全国を対象に交通サービス水準を定量的に把握する唯一のシステムであり、関係行政機関等における施策の検討や施設整備の事業評価等に広く活用されている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・公共投資の効率化・透明化に係る強い社会的要請に応え、関係行政機関等からも強いニーズがあり、全国的視点、効率性や透明性確保の観点から、国において実施すべきものである。</p> <p>・透明性を確保した上で受注者を選定した上で、競争性は十分に確保されている。また、専門性が高い調査を迅速かつ計画的に実施するため、内容を精選したうえで発注している。</p> <p>・全国を対象に交通サービス水準を定量的に把握する唯一のシステムであり、関係行政機関等における施策の検討や施設整備の事業評価等に広く活用されている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	84	平成23年	30	平成24年	34

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)エヌ・シー・エム			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	全国総合交通分析システムの収蔵データ更新及びライブラリー機能の構築	14			
計		14	計		0
B.一般財団法人 計量計画研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	指標の更新と分析及びNITAS使用成果事例集の作成	14			
計		14	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エヌ・シー・エム	全国総合交通分析システムの収蔵データ更新及びライブラリー機能の構築	14	2	99.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人 計量計画研究所	指標の更新と分析及びNITAS使用成果事例集の作成	14	3	96.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					